

農業委員会委員の応募及び推薦状況の詳細

No.	氏名	性別	年齢	被推薦者(推薦を受ける者)・応募者				推薦者					他市等の農業委員等への応募の別			
				農業経営の状況		認定農業者	経歴	団体推薦				個人推薦				
				営農類型	耕作面積			組織の名称	代表者名	構成員の数	構成員の資格			氏名、性別、年齢		
応募理由							年月	役職名等	推薦理由							
1	中田 裕子	女性	62	造園業経営	植木	6,000㎡	○	S63.7~R4.3	好樹園に勤務(主に山野草・植木栽培)	一般社団法人川口市造園業協会	代表理事・会長 寺山 樹生	40社	建設業の許可を受けてから5年以上経過し川口市内に本社を置いて造園業を営み協会理事の同意を得た者		無	
				川口はここ数年住みやすい町に選ばれるなど人口が増加し、都市化が進んでいます。一方、市の北部では生産緑地が数多く残っており、地場産業である植木栽培をはじめ、農業を維持しながら生活している人も少なくありません。しかし、住宅開発等都市化と農地の維持がうまく共存できているかといえれば決してそうではないように感じています。もちろん農業経営が抱える後継者問題や収支バランス等簡単に解決できる問題ではないことはわかっていますが、農業経営者が抱える問題を親身になって考えられると思い応募いたしました。				R4.3~ R5.7~	榊好樹園 代表取締役就任 川口市農業委員会委員	江戸時代から約400年続く植木の産地である安行は現在でも多くの方が緑地関連の仕事を生業としています。中田氏も、1770年代(江戸10代将軍時代)から続く植木業を営む家に嫁ぎ、個人経営から法人経営へ経営形態を変え発展を続けている家業を支えてきました。仕事のためになると1級造園施工管理技士や2級土木施工管理技士の資格も取得し、経営にも参加するようになりました。また、昔ながらの家長制度の中で30数年を過ごしてきた経験から現在農業経営者の抱える問題についても理解があります。令和4年3月前社長であるご主人の急逝に伴い社長に就任し、従業員を束ね今までと変わらぬ会社経営を行っています。当造園業協会においては前社長の意志を継ぎ、積極的に活動に参加してくれると期待しています。現在、川口市では人口増加に伴う都市化と農業経営の両立の難しさや、農地税制問題や農業従事者の高齢化・後継者不足など極めて厳しい環境が取り巻く中、中田氏は農業委員としてその能力を如何なく発揮されるものと期待しております。						
2	山岡 宗義	男性	57	農業	花	10,000㎡	○	H2.4~	川口市又は長野県小諸市で花生産					石井貞夫 男性、64歳	無	
				地域の農業発展の為に活動できればと思う。近年の都市農業において高齢化していく中、どうすれば若者の農業への参入ができるのか考えたい。今後の川口市の農地がどの様に守られていくか農業委員として考えていきたい。				H29.7~R2.7	川口市農業委員会委員	自営の仕事の農作業もしっかりと行い、町会、地域の活動や行事などにも積極的に参加、皆とコミュニケーションもしっかり取れている。						
3	金園 祥彦	男性	44	会社役員農業	野菜	500㎡		H16.7~H17.6	大学卒業後、オーストラリアへ留学しFarm Jobを経験。大規模農業の経営管理や戦略、スマート農業の技術を学習						無	
				川口市は直近20年で農業経営耕地面積、農家戸数が約40%減少し耕作放棄地も増加しており非常に深刻な状況です。私はこの現状を打破するにはこれまでの枠組みに捉われない情報の拡散力が必要であると確信し応募いたしました。私は現在、SNS総フォロワー数約2万人、動画総再生数500万回を超えるアカウントを運用しており、情報の伝え方、広げ方を熟知しております。今は農業の魅力をSNSで戦略的に発信する時代です。私が農業委員に選出されましたら、この発信力を最大限に活用し主に耕作放棄地の発生防止と新規就農の促進に注力し、川口市の農業課題を数値で実感できる形で改善することをお約束いたします。現在、私自身も認定農業者の取得に向けて準備を進めており当事者意識を持ち様々な課題解決に取り組む覚悟です。農業委員会の構成に多様性と専門性をもたらす次世代に繋がる川口市の農業を築くため貢献したいと考えております。				H28.12~ H30.5~R2.5	LAND WATER株式会社を設立、代表取締役に就任 川口市緑化対策委員に就任。緑化施策に関する議案の審議や緑の基本計画の策定進捗管理を実施	R6.1~R6.12	埼玉県農林公社主催の就農予備校に入校し修了。農業の基礎及び実践的技術を習得					
								R7.10~	市内で約500㎡の耕作放棄地を借り受け再生、野菜の生産に従事。今年度、市内約5000㎡の耕作放棄地を借り受け生産基盤拡大を予定							

No.	被推薦者（推薦を受ける者）・応募者							推薦者					他市等の農業委員等への応募の別			
	氏名	性別	年齢	職業	農業経営の状況		認定 農業者	経歴		団体推薦				個人推薦		
					営農類型	耕作面積		年月	役職名等	組織の名称	代表者名	構成員の数		構成員の資格	氏名、性別、年齢	
応募理由							推薦理由									
4	沖田 保	男性	45	造園業	植木 野菜 果樹	17,754㎡	○	H14.4～	庭園管理、植木生産、野菜生産 ㈱沖田園代表取締役社長					宇田川 好秀 男性、63歳	無	
川口市の農業の発展に貢献したいと考えているため。							地域の農業者から信頼が厚く、責任感が有るので推薦いたします。									
5	小櫃 敏文	男性	63	農業	盆栽	4,000㎡	○	H12.5～H22.5 H15.9～ H17.3～ H17.4～R3.3 H29.6～ H30.5～R5.5 H31.4～ R2.7～	川口市農政審議委員 (農)JAあゆみ野安行園芸セン ター理事 埼玉県輸出盆栽研究会 会長 日本小品盆栽組合 理事 さいたま農協共同組合 理事 農政審議会委員 公益財団法人川口振興公社評議 員 現(公財)川口勤労福祉サービ スセンター評議員 川口市農業委員会委員	さいたま農業協同組合 安行支店	支店長 佐久間 裕一	16			被推薦者 小櫃敏文氏は長年、安行の盆栽業に従事するとともに、さいたま農業協同組合の理事を務め、地域農業の振興に多大なる貢献をされてきました。地域の農家とのネットワークが広く、現場の声を的確に把握・調整できる能力を備えています。植木の街・安行における農地制度の円滑な運用と、都市農業としての調和を図るために、小櫃氏の豊富な経験と指導力は不可欠であります。また、誠実な人柄で地域の信頼も厚く、農業委員として適任であると考え推薦いたします。	無
6	山崎 敬司	男性	63	自営業	植木・花・ 野菜・ 貸農園	7,000㎡		S60.4～H12.9 H12.10～ H24.10～	会社員(セントラル自動車 技研(株)) 就農(花木栽培) ベジファーム川口 (貸農園)運営					大森 弘 男性、79歳	無	
現在、市民向けの貸農園を運営しております。利用者と接する中で、今まで農業に縁がなかった人々の中に、農業や食への関心が高まってきていると感じています。地域農業の担い手として、若い後継者の育成や新規就農者を支援していきたいと考えております。また、農業者の高齢化によって増える休耕地の集約化や有効利用の推進に貢献したいと考えております。							戸塚地区の中核的な花卉栽培農家として農業に長年従事し、強い責任感で地域の中心的な存在として活躍されています。今後の地域農業の発展に向けて貢献される方として推薦します。									

No.	被推薦者(推薦を受ける者)・応募者							推薦者					他市等の農業委員等への応募の別		
	氏名	性別	年齢	職業	農業経営の状況		認定農業者	経歴		団体推薦				個人推薦	
					営農類型	耕作面積				組織の名称	代表者名	構成員の数		構成員の資格	氏名、性別、年齢
応募理由							年月	役職名等	推薦理由						
7	石井 茂	男性	73	農業	植木	712㎡		~S50.3	立正大学 経済学部 経済学科卒業					石井 邦是 男性、72歳	無
								S50.4~H31.3 H11.4~H15.3 H15.4~H18.3 H18.4~H21.3 H22.4~H25.3 H25.4~H31.3 H27.4~	川口市役所勤務 芝スポーツセンター勤務 用地対策課勤務 農務課勤務(課長補佐) 前川図書館勤務(館長) 再任用(用地対策課、中央ふれあい館、西川口公民館館長) 営農					石井茂さんは長年にわたり、木曾呂第一町会に居住し、地域農業の担い手として農地の利用や保全に取り組んでいます。また町会の行事等にも積極的に参加され、誠実で住民からも信頼を得ています。以上の理由から川口市農業委員として、地域農業の発展に大きく貢献できる適任者であると考え、ここに推薦をいたします。	
8	濱田 義彦	男性	61	印刷業				S61.4~ H22.11~ H25.11~ H15.12~ H27.5~R5.4 R1.5~ R1.6~R3.6 R7.5~	(有)浜田印刷代表取締役 川口商店街連合会 理事 川口商工会議所 議員 保護司 委嘱 川口市議会議員 川口地区保護司会 理事 川口市 農政審議会 委員 川口市いじめ問題協議会 委員					浅倉 利行 男性、76歳	無
														濱田さんは、かつて市議会議員として川口のために尽力された方であり、地域の事情を誰よりもよく分かっていると思います。農業の実務経験はないと伺っていますが、議員活動で培われた広い視野と公正な判断力は、農業委員会の厳正な審査において、力を発揮されるかと思えます。私自身、町会長として日々お付き合いする中で、濱田さんには全幅の信頼を置いています。後継者不足や農地転用といった難しい問題も、濱田さんなら持ち前の調整力を活かせるかと信じており、自信を持って推薦いたします。	
9	鈴木 一	男性	63	会社経営				H30.10~	川口都市計画事業新郷東部第2土地区画整理審議会委員					中山 久仁夫 男性、79歳	無
														鈴木さんは、日頃の町会活動において、いつも率先して動いてくださる非常に頼もしい存在です。地域の集まりなどでも、難しい問題に対して公平に耳を傾け、みんなの意見をうまくまとめてくださる姿を拝見し、その冷静な判断力には私も大きな信頼を寄せています。また、区画整理の審議会委員としても活動されていると伺っており、地域のまちづくりをよく知っている方です。私たちの新郷地区は、住宅のすぐそばに畑がある地域ですが、こうした環境の中で、農地を大切にしながら地域を盛り立てていくのが、鈴木さんのような地元の方の目線に大切にされる方なら、しっかりと向き合ってくれると期待しています。鈴木さんを農業委員として推薦いたします。	

No.	被推薦者（推薦を受ける者）・応募者							推薦者					他市等の農業委員等への応募の別		
	氏名	性別	年齢	職業	農業経営の状況		認定 農業者	経歴	団体推薦			個人推薦 氏名、性別、年齢			
					営農類型	耕作面積			組織の名称	代表者名	構成員の数			構成員の資格	
応募理由							年月	役職名等	推薦理由						
10	豊田 満	男性	73	農業	野菜	2,000㎡	○	H3.5~H23.4	川口市議会議員	さいたま農業協同組合 戸塚支店	支店長 鈴木 信彦	19			無
								H3.5~H10.5	川口市農政審議会委員						
								R5.7~	川口市農業委員会委員						
川口市の農地は、都市化の進行や相続を契機とした転用により減少傾向にあります。私はこの課題に対し、認定農業者として現場で培った知見と、市議会議員として市政に携わった経験を活かし、意欲ある担い手への農地集約や新規就農支援の円滑な推進に貢献したいと考えております。現場と行政の架け橋となり、本市農業の持続可能な発展に農業委員として尽力したいと考え、応募いたしました。									豊田満さんを推薦します。JAさいたま戸塚支店 正組合員であり、認定農業者でもあります。植木業を中心に農業を営んでおり、農業改革として、農業経営規模の拡大・生産性の合理化を目標にしており、農業委員に相応しいと考えております。						
11	濱野 隆次	男性	68	農業 造園業	植木・花	1,000㎡	○	S51.4~S53.3	(現) 埼玉県農業大学校	一般社団法人 川口市造園業協会	代表理事・会長 寺山 樹生	40社	建設業の許可を受けて から5年以上経過し川口 市内に本社を置いて造 園業を営み協会理事の 同意を得た者		無
								S53.4~S55.3	蓮田市美正園にて植木仕立て、 庭木手入れ住み込み研修						
								S55.4~S63.9	家業での植木生産						
								S63.10~	有限会社浜野花園設立						
								S55.4~H15.1	安行造園会入会(造園部長として 各種資格取得や生産技術講習を 行う)						
								H3~	川口市造園協会へ入会(H22年度 から理事)						
								H20~	埼玉県造園業協会へ入会						
H22.7~	埼玉県造園業技能検定推進協議 会(技能検定委員を務める)														
R6.4~	西新井宿第二町会長														
R6.4~	神根公民館運営審議会委員														
近年の農地の減少、耕作放棄地の増加、農業従事者の高齢、後継者不足など、農業を取り巻く状況は厳しさを増すばかりですが、都市近郊だから出来る農業、都市に密着した、レンタルファーム、農家カフェ、直販売所(道の駅、イナパークなどを改良)など下地はたくさんあると考えられる。また町会活動や公民館運営など地域の方々と交流を持ちながら地元神根の農業を少しでも良い方向へ進めたい。そして、新井宿駅北側、戸塚安行駅南側の特区による整理事業はまさにこれからの川口の農業と緑地空間と住居を兼ね備えた、今までにはない、新しい農業体系を創造してくれることに期待をし、微力ではあるが川口市の農業・緑地保全活動に参加させていただきたいと思い、応募をさせていただきます。									川口市の伝統産業の一つである植木や花きを生産する神根地域の緑の中にあつて、濱野氏は昭和63年に(有) 浜野花園を設立して以来、社業の発展と造園業の振興に努力するかたわら、1級造園施工管理技士や2級土木施工管理技士の資格を取得し、さらには埼玉県造園技能検定推進協議会において、造園技能士の技術向上の指導に当たると共に後継者の育成にも尽力している。 また、自身も監理技術者資格など実践現場に必要な各種資格も積極的に取得して、日々の作業にその能力を十二分に発揮する一方その柔和で思慮深い人格をもって当造園業協会の運営にも理事として活躍しています。 現在、川口市の農業を取り巻く状況は都市化の進展と農業技術者の高齢化さらには後継者不足など数多くの課題を抱えているなか濱野氏は農業委員としてその能力を如何なく発揮されるものと期待しております。						
12	森 京子	女性	71	会社員				S49.10~	㈱もり造花生花店 勤務					杉本 佳代 女性、61歳	無
								S51~	㈱ハナモ						
								R5.7~	川口市農業委員会委員						
私は自営で生花、花鉢、蘭鉢、各種の花を販売する仕事をしています。近年、川口市内で作られたものも販売しますが、なかなか川口市内の農業は大変厳しい現状。これを改善したいと考えています。									経営者として手腕を発揮される傍ら、地域活動にも精力的に取り組まれており、その豊富な経験と高い見識は、農業委員会の円滑な運営に大きく寄与するものと考えます。特に、川口市の地場産業である花き生産の魅力、販売の最前線に立つ「花屋」の視点から再発見し、発信できる稀有な人材です。これまでのキャリアで培われた洞察力をもって、本市農業の発展に多大なる貢献をいただけるものと確信し、自信を持って農業委員会の委員に推薦いたします。						

No.	被推薦者(推薦を受ける者)・応募者							推薦者					他市等の農業委員等への応募の別		
	氏名	性別	年齢	職業	農業経営の状況		認定 農業者	経歴		団体推薦				個人推薦	
					営農類型	耕作面積				組織の名称	代表者名	構成員の数		構成員の資格	氏名、性別、年齢
応募理由							年月	役職名等	推薦理由						
13	田中 淳子	女性	54	植木	植木	1200	○	H2.4~	田中造園勤務	さいたま農業協同組合 安行支店	支店長 佐久間 裕一	16			無
<p>私は、安行で造園業を営んでおります。この土地ならではの景観や文化を支える農地を何とかして次世代へ残したいという思いが強くなり、地元への貢献をしたいと思い今回応募いたしました。</p> <p>最近安行でも、後継者不足などで手入れの行き届かない農地が増えているのが気になっております。私は造園のプロとして、長年土地の管理や植物の育成に携わってきました。一度荒れてしまった土地を元に戻すのがどれほど大変かを知っているからこそ、現場の状況を正しく理解し、どうすれば農地を守っているか皆さんと一緒に考えていきたいと考えています。</p> <p>地域の方々をしっかりと聞き、公平な立場で安行の植木産業や川口の農業を盛り立てていけるよう、精一杯がんばりたいと思います。</p>									<p>被推薦者は、安行地区において長年、植木・苗木の生産農家として従事し、伝統的な技術を継承する、地域を代表する農業者です。</p> <p>農業者として、安行ブランドの高品質な樹木生産を実践されており、生産現場が抱える資材高騰や後継者不足といった課題に真摯に取り組んでいます。</p> <p>特に、都市化が進む川口市において、生産基盤である「植木畑」を適正に管理・保全することの重要性を熟知しており、農地の集約化や遊休農地発生防止に向けて、現場感覚に基づいた的確な助言・判断が期待できます。</p> <p>安行の基幹産業である植木生産の発展と、都市型農業の適正な推進に欠かせない人材であり、農業委員として適任であると考え推薦いたします。</p>						
14	片野 俊彦	男性	69	無職											無
<p>ここ7,8年農業(食)に対し、関心を持つようになり、家の畑で土づくりから始め、いくつかの作物を作るようになりました。それでも思ったように育たず、色々な助言をいただき思考錯誤の毎日です。ちなみに50年前は元郷で農業をしていました。</p>															
15	山岡 佐智子	女性	58	農業	植木・花・野菜	6,318㎡		S63.4~H7.5	情報システム部勤務	さいたま農業協同組合 神根支店	支店長 齋藤 正樹				無
<p>本市は東京都に隣接しており都市化の波に抗えない状況にあります。その中で従来からの農業従事者の高齢化、後継者不足も相まって耕作放棄による荒廃農地の増加等、営農環境の悪化とともに問題が山積となっています。こうした問題に前向きに取り組み、今後の農業の活性化を目指すためにも農業委員会の果たす役割は重要と考えています。今までの経験を地域農業の振興・発展に資するべく、農業委員として貢献したいと考えております。</p>							H8.3~	農業に従事	<p>被推薦者は、29年の長きにわたり農業に携わってこられました。その間、地元農事組合の役員を務め、更にはJAさいたま神根支店の女性部員としても活動しており、地域の農業振興に貢献しております。</p>						
							H28~H29	西新井宿第一農事組合 班長							
							H29.12~	保護司							
							R5.7~	川口市農業委員会委員							